



■略歴

1979年・阿南市見能林にて出生
1992年・徳島県阿南市立見能林小学校卒業
1995年・徳島県阿南市立阿南中学校卒業
1998年・徳島県立富岡西高等学校普通科卒業
1998年・慶應義塾大学法学部政治学科入学
体育会航空部主将を務める
2002年・慶應義塾大学法学部政治学科卒業
2003年・北米大陸横断旅行(NY→LA)達成
2003年・株式会社UFJ銀行
(現 三菱東京UFJ銀行)入行
法人取引を担当
2007年・財団法人松下政経塾に入塾(第28期生)
2010年・財団法人松下政経塾卒塾
・自由民主党徳島連
次期参議院議員候補 公募
・7月11日 第22回参議院議員選挙に
当選(徳島選挙区)全国最年少(31歳9ヶ月)
2012年・自民党政策審議会 副会長
・参院消費者問題特別委員会 理事
2013年・参院内閣委員会 理事
・参院自民党国会対策委員会 副委員長
2014年・参院環境委員会 筆頭理事
・参院ODA特別委員会 理事
・参院自由民主党副幹事長(財金担当)

ユースケ プロフィール

参議院自民党副幹事長(財金担当)
自民党環境関係団体委員長
自民党環境部会 部会長代理
自民党青年局 局長代理

■誕生日:1979年7月12日

■出身地:徳島県阿南市

■血液型:O型

■ポリシー:天命に生きる



最年少の会

小泉進次郎青年局長、宮川典子衆議院議員と。



2060研究会

弁護士、会計士、経営者、グローバル企業人事など多くの業界に在る同世代と将来ビジョンを研究。2060年は、中西が80歳になる歳。政治は、将来への結果責任。来季は分科会で深掘る。



居酒屋政経塾

徳島の四大学(徳島、四国、鳴教、文理)の志ある学生さん達と語り合う“居酒屋政経塾”開講。政治は生活そのものの、視点で我々世代の生きる時代を語る。



徳島ビジョン懇談会

魅力ある徳島の各層活動家たちと、徳島の将来ビジョンについて定期的に意見交換会。前向きな発想とアクティブな行動力は、間違なく時代の担い手となり、次代を創っていく。

急募!! 現地現場に基づいた政治を行うために、徳島事務所ではこれらを募集しています。

くるまざ集会

デリバリー・ユースケ! あなたの下に直接ユースケが伺います。学生さんからおじいちゃんおばあちゃんまで5人~、1時間以上寄って頂ければ、現下の国政報告、本人の政治理念をお話しさせて頂きます。また皆さま方の思いや地域課題についても直接伺い、今後の活動に反映させて参ります。ぜひ熱い語り合いたいとしましょう!

→会場:ご自宅から公民館まで、どこでも。

→時間:1時間以上

→日程・内容:ご希望を事前に、下記事務所までご連絡を!



学生ボランティア&インターんシップ

ユースケは、次世代につなぐ政治を実現したい。歴史をひもとけば時代の変わり目には常に、20代、30代が主軸になって動かしてきました。ともにユースケと政治や社会を語りながら、我々とともに活動出来る学生さんを募集しています。経験不問、志のみ持參! 热い仲間を心から歓迎します。



学生さんの活動も応援します!

(写真:HSPこどもトライアスロン役員総会@徳島大学)

後援会およびサポータースタッフ

ユースケは、ともに考え、ともに創る政治を目指しています。日本の国難たるこの時代、切り拓くには、同じ思いで活動をご支援頂ける仲間が必要です。これからユースケを、皆さまがお育てください! 後援会活動や広報活動について、ご協力頂ける皆さまを募集しています。

→後援会員入会

①事務所連絡先にある、電話/FAX/Mailに、氏名、住所、連絡先をお送りください。

②ホームページ内入会案内より、お手続きください。

→サポータースタッフ

本活動報告誌や、ポスターの掲示など、出来る範囲でユースケの地域活動をサポート頂けるスタッフを募集中です! 地盤・看板・力バンのしがらみなき政治家、ユースケをあなたの手でお支えくださいませ。ご連絡は事務所まで。



個人献金/ネット献金

ユースケは、“政治とカネ”に終止符を打ちたい。利権に基づく政治は、為すべきことを成さしません。しかし、いくら工夫をしても活動を進めには広報や事務所運営など、最低限の資金が必要なことも事実です。



皆さんのお気持ちを、ご支援ください。

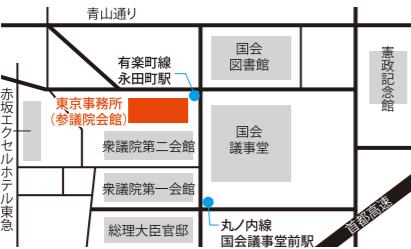
なお、献金につきましては、政治活動に大切に活用させて頂き、政治資金規正法に基づきご報告させていただきます。

→お手続き方法

事務所までご連絡ください。「注意事項」「特典事項」をご説明の上、ご案内致します。

中西祐介事務所

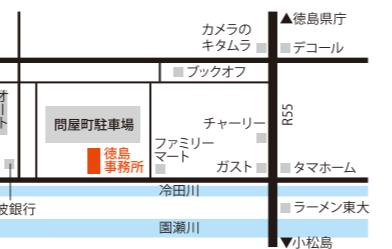
〒 東京事務所
〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館622号室
Tel.03-6550-0622
Fax.03-6551-0622
✉ yusuke_nakanishi02
@sangiin.go.jp



青山通り
有楽町線
永田町駅
国会図書館
憲政記念館
東京事務所(参議院会館)
衆議院第二会館
衆議院第一会館
総理大臣官邸
九ノ内線
国会議事堂前駅

ユースケ本人へ ✉ info@yusuke-nakanishi.jp

〒 徳島事務所
〒770-8056
徳島県徳島市問屋町31番地
Tel.088-655-8852
Fax.088-655-8853
✉ yusuke-nakanishi
@nifty.com



“読む、ユースケ。JOURNAL/Y” バックナンバーのお問い合わせはHPもしくは事務所までご連絡ください。

詳しい情報は
ホームページへ

<http://www.yusuke-nakanishi.jp>

Published by Yusuke Nakanishi Office



読む、ユースケ。 JOURNAL/Y

“日に新たに”に躍動する 参議院議員 中西祐介 情報誌 / ジャーナルワイ

Create our new age and make each day a-new

2015新春

Issue 9



平成二十七年 謹んで新年のお慶びを申し上げます。

中西祐介は未年、年男。生まれ年の原点、志の原点に改めて立ち返る年にしたい。

日本は、戦後七十年。

世界唯一の平和繁栄国家は、荒廃した国土から先人の苦労・努力・汗の積み重ねでつくられた。

今を生き、未来を形作る我々の使命。

人口減少、経済再生、地方創生、安保法整備など山積する現実課題を正面から直視し、行動して参ります。

本年もご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

平成二十七年正月 参議院 自民党副幹事長 中西祐介

委員会の様子はこちらでご覧頂けます ▶▶ <http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

<http://www.yusuke-nakanishi.jp>



日に新たに

情報誌
参議院議員 中西祐介

見る、ユースケ。

Issue
9
2015新春

ユースケの 当選から これまでの 国会での歩み

2010.7-2014.8

皆様の思いを国政へと、
取り組ませて頂きます。→2012年12月
第46回衆議院議員総選挙政権奪還をかけて最大限の応援に。
「日本を、取り戻す」為に第一歩
目の勝利。→2010年7月30日
参議院、初登院

31歳0ヶ月最年少参議院議員として胸を張って決意の一枚。

→2011年7月
地元要望行動に

本四架橋通行料の全国一律を求め国交省に要望活動。

→2011年12月
The Biggest Paint Project

世界一大きな絵を子ども達に。永田町の枠を超えて将来世代につなげる活動を展開。

→2012年3月30日
予算委員会 初質疑

暫定予算の総括質疑に、史上年少で登板。当時の野田首相はじめ全大臣出席の中、奮闘。

→2012年5月
ASEAN視察

自民党総研の派遣でASEAN4カ国を視察。日本の新たな国際貢献と経済連携の可能性を模索。

→2012年7月25日
社会保障と税の特別委員会

社会保障と税の特別委員会社保特委員としてTV質疑。民主党による扶養控除削減、子ども手当の破綻など子育て政策の不備を追及。

→2012年9月
自民党総選挙

新生自民党をかけて、石破陣営で総裁選を戦う。全国遊説では候補者付きで力ケル!

→2012年11月
政策審議会副会長に就任

33歳の執行部入りは異例の抜擢。政局より政策。今後の与党の政策責任を重く自覚。

→2012年11月
参議院議院運営委員に着任

ねじれ国会の中で重要な役割がある議運。衆院選後、参院は少数与党として知恵と汗が試される。



▶▶▶ 参院決算委員会 総括質疑

参院史上年少にて、締め括り総括質疑を行う。安倍総理を始め全大臣が出席の下、法人税減税や放射能汚染土の中間貯蔵施設運用開始問題など、重要なテーマを質す。政府与党一体となって諸問題に取り組む。

▶▶▶ 福島県視察

中西が筆頭理事を務める参院環境委にて、原発事故の収束を図る福島県内の状況を視察。防護服と線量計に身を包み、東電福島第一原発の内部にも潜入。



道、家屋、農地に至るまで、丁寧な除染作業が続く。一刻も早く福島の将来ビジョンを示すことこそ、政治の大好きな仕事だ。

→2014年6月9日
参院決算委 総括質疑

総理全閣僚を前にTV入り質疑。決算重視の参院では、検証結果を予算に反映する。

→2014年6月5日
東電福島第一原発視察

原発建屋内部や周辺地域の除染活動を視察。「福島の復興なくして、日本の復興なし。」

→2014年6月30日
政策提言

責任ある与党として、現地現場に基づいた政策提言を政府・党幹部に直接行う。

→2014年8月
ODA視察派遣

公式派遣団団長として、中米(ドミニカ共和国、パナマ、コスタリカ、ニカラグア)に視察。予算的支援もさることながら、現地で活躍するJICA等日本人の活躍が高い評価を受ける現地。途上国とも互恵関係が持てる支援策を展開したい。

▶▶▶ 台風11号による大規模浸水状況対策

西村康稔内閣府副大臣ほか政府調査団と共に、災害現場調査。阿南市加茂谷地区や那賀町、海部郡海陽町地区における情報収集では、「現地現場」の重要性を痛感。



「治水」こそ政治の基本。吉野川流域の無堤低床地域、土砂災害が危惧される中山間地域の山林整備など、改めて災害への備えを再点検し、「命を守る」政治を行いたい。

▶▶▶ 政策提言



石破幹事長(当時)あて、低炭素社会実現に向けたLED等の環境技術促進策を提言。



安倍総理あて「2030年の日本」をテーマに、国のグランドビジョンの中間報告を行う。

▶▶▶ 自由民主新聞



中西は環境部会長代理として、政策の取りまとめを行う。機関誌「自由民主」の取材。

▶▶▶ ODA視察

参院の公式派遣団団長として、中米(ドミニカ共和国、パナマ、コスタリカ、ニカラグア)に視察。予算的支援もさることながら、現地で活躍するJICA等日本人の活躍が高い評価を受ける現地。途上国とも互恵関係が持てる支援策を展開したい。

